

地域ネットワークだより



笑顔も跳ねる!

せつぺとべ

日吉の御田植祭

6月2日(日)日置市で、米の豊作を願う伝統行事「せつぺとべ」が行われました。日置市日吉町で420年以上続く「せつぺとべ」は、「精いっぱい跳べ」という方言で白装束をまとった参加者らが田んぼにいる害虫を踏み潰す伝統行事です。

「お田植え踊り」は、小学生を中心とした踊り子が集落ごとに神社に奉納します。そして仮面神「大王殿(デオドン)」が見守る中、若者たちが田んぼの中で輪になり「チョシ、チョシ、チョシ」の掛け声とともに飛び跳ね、今年1年の豊作を祈りました。



▲八幡神社でお田植え踊りを奉納



▲仮面神 大王殿(デオドン)が見守る



御神田を
上空から撮影



▲永山日置市長にダイドーグループ日本の祭り高松代表より選定の証を贈る

MBCでは「せつぺとべ」の模様をクレーンカメラなど10台のカメラで撮影しました。その模様はテレビ番組「ダイドーグループ日本の祭り」で7月7日(日)午前10時35分から放送します。

新生鹿児島市誕生20年 × MBC

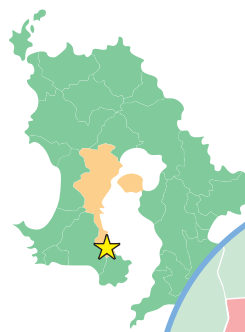
5地域を玉谷アナがめぐる!

たまさんぽ

平成の大合併から今年で20年、県内でも10月の薩摩川内市を皮切りに多くの市町が節目の年をむかえます。MBCは鹿児島市と協力し、11月に合併20年を迎える吉田・桜島・喜入・松元・郡山地域(以下5地域)の魅力を発信するシリーズ企画を6月からスタートしました。

第一弾

喜入



喜入のパワースポット 香梅ヶ淵にて

第一弾の取材は「喜び入るまち」喜入でした。鹿児島市の南部に位置する喜入には薩摩藩の外城である「麓」が築られました。旧麓(もとふもと)地区では今でも往時の面影を残す水路や石堀が連なり、武家屋敷跡の雰囲気を感ずることができます。



その喜入旧麓に、この春完成した交流館「陽だまり」にも立ち寄りました。古民家を改装した案内所&カフェとして早速人気のスポットとなっています。



また、取材当日(5月25日)は第1回「陽だまりマルシェ」が開かれ、市内外から大勢の来場者で賑わっていました。



hidamari_202403



@HIDAMARI_202403

「喜入をたまさんぽ」は6月20日の「かごしま4」でお伝えしました。これから10月まで毎月1回、計5回に分け5地域の魅力を発信していきます。動画はMBCの公式YouTubeサイトで視聴できます。そして取材の様子は鹿児島市地域づくり推進課の公式Instagram #ここかごで見ることができます。

cocokago_official



@COCOKAGO.OFFICIAL



喜入旧麓の構成文化財のひとつ南方神社では玉谷アナが絵馬に願いを託していました。その絵馬には話題のあのチームのデザインが施されています、そのチームとは!?



鹿児島市役所喜入支所

kagoshima_kiire



@KAGOSHIMA_KIIRE

ふれ愛ランドリー かがらん カップ

第48回MBCママさんバレーボール 鹿児島県大会

2024.5.18[sat]▶19[sun]

●桜島総合体育館(南栄リース桜島アリーナ)
及び補助体育館

MBCテレビ
6/13(木)9:55~
ON AIR



5月18日(土)・19日(日)鹿児島市桜島横山町の南栄リース桜島アリーナで、「ふれ愛ランドリーかがらんカップ第48回MBCママさんバレーボール鹿児島県大会」が開かれました。MBCの主催で1985年から続く大会で、今年は県本土・種子島・屋久島・奄美大島からあわせて48チームが参加しました。

さわやかに しなやかに
心ひとつに!

第48回 MBCママさんバレーボール 鹿児島県大会

大会は、年齢制限なしのAパートと40歳以上でチームを作るBパートで競われました。優勝したのは、Aパートは鹿児島市のチーム「ビアーズ」、Bパートは同じく鹿児島市のチーム「東谷山」で、ともに2年連続優勝を飾りました。

試合の様子はMBCテレビで6月13日(木)午前9時55分から特別番組でお伝えしました。



Aパート

【優勝】ビアーズ（鹿児島地区）



Bパート

【優勝】東谷山（鹿児島地区）



準優勝	国分北	始良地区
3 位	MIRACLE	始良地区
3 位	紫陽花	出水地区



準優勝	郡山	鹿児島地区
3 位	クインズ出水	出水地区
3 位	西谷山	鹿児島地区

発信! 現役CAかごしまライフ

～屋久島・永田浜 ウミガメとの出会い～

ANAの現役CAでMBCで兼業中の西原亜希子さん(始良市出身)が県内各地を訪れ、その魅力をブログ「現役CAかごしまライフ」で発信しています。

5月に取材で訪れたのは、北太平洋最大のアカウミガメの産卵地でもある世界自然遺産の島・屋久島です。

宮之浦港近くにある「屋久島うみがめ館」代表の上田博文さんにお話を伺いました。



▲写真中央：上田さん

「屋久島うみがめ館」ではウミガメの生態や屋久島との関わりについて、実際に触れて体感しながら学ぶことができます。



島の北西部にある「永田浜」は、屋久島の中でも、特に多くのウミガメが産卵のため上陸します。この永田浜を目の前にのぞむロケーションに「マリンプレー屋久島」があります。

ホテルを営む計屋卓摩さんは神奈川県で生まれ育ち、横浜市で不動産・建物管理事業を中心にした会社を営んでいます。

現在、屋久島で「マリンプレー屋久島」と屋久島空港前にある「縄文の宿 まんてん」の2つのホテルを営んでいます。

「事業を通じて屋久島に貢献したいと思うのは、先代(父)、そしてご先祖が喜ぶと思うから。それに尽きますね」

永田出身の父・圭宏さんのふるさとへの思いを受け継ぎ、計屋さんは島内でのネットワークづくりにも熱心に取り組んでいます。

「屋久島のもつ独特な環境・魅力を持続的なものにしていきたい。いろいろな人と一緒に、お互いの良さを引き出し合いながら、屋久島にとっていいことは何かを模索し続けていきたい。」と話します。

永田浜では7月までウミガメが産卵のために上陸します。今回特別に「屋久島うみがめ館」の上田さんの案内でウミガメを観察することができました。



西原さんが屋久島のグルメや自然を体感! その内容はブログ「現役CAかごしまライフ」で紹介しています。

やくしまじかん
Yakushima Time



「ホテル事業を通じて屋久島に貢献したい」と話す計屋さんの思い。詳しくはWEBマガジン「やくしまじかん」で紹介しています。こちらもぜひ御覧ください。

